

記事掲載：2022年3月

翻訳：2022年4月

## ECW によるドイツ経済協力・開発大臣スベニャ・シュルツェ氏のインタビュー



「質の高い教育-SDG4-は、すべての持続可能な開発目標の達成を可能にする重要な要素です。なぜなら、教育を受ける者が持続可能な開発のためのチェンジメーカーであるからです。教育は変革のための鍵なのです。」ードイツ経済協力・開発大臣 スベニャ・シュルツェ

**スベニャ・シュルツェ大臣**：まず、1月の「教育の国際デー」にジュネーブのECW事務所でお会いした**ヤスミン・シェリフ**に感謝を申し上げます。私は、彼女と彼女のチームの献身的な活動に感銘を受けました。彼女は、まさに教育についての素晴らしい提言者です。

新政権が発足して間もないですが、ドイツ政府は、今日の課題に対処するための野心的な計画を立てています。私は、2022年を政治における開発の議論が真の変革される年とし、2030年までに持続可能な開発目標の達成に貢献するためのドイツの努力をさらに高めたいと考えています。私たちに必要なのは、新しい楽観主義、敬意、そして国際的な連帯です。多国間主義を復活させ、現代の課題に対応する新たな協力の形を育む必要があります。すべての人が質の高い教育を受けられるようにすることは、2030年の目

標の 1 つにとどまらず、飢餓や貧困との戦い、気候変動との戦い、より平和で包括的な社会の実現など、多くの目標を達成する上で重要な鍵となります。

危機や紛争の影響を受けている国々では、1 億 2,800 万人の子どもや若者が学校に通えていません。教育は人権であり、緊急時に安定と保護をもたらすことができます。そして私たちは、最も弱い立場にある子どもたちに、より良い未来と尊厳ある生活のためのチャンスを与えるという共通の責任を負っています。子どもたちがその可能性を十分に発揮できるようにエンパワーする必要があります。しかし、緊急時には、教育が最初に停止され、最後に再開されるサービスになることが多々あります。多くの場合、資金は危機が最も高まっている時に短期的な緊急支援として提供されます。しかし、緊急時の教育支援の予測可能性と有効性を高めるためには、短期のみならず継続して拠出される資金を調達することも重要です。ドイツは、「教育の国際デー」に、ECW への複数年にわたる資金拠出に関する発表とともに、信頼できる持続可能なコミットメントが必要であることを示す強いメッセージを発しました。

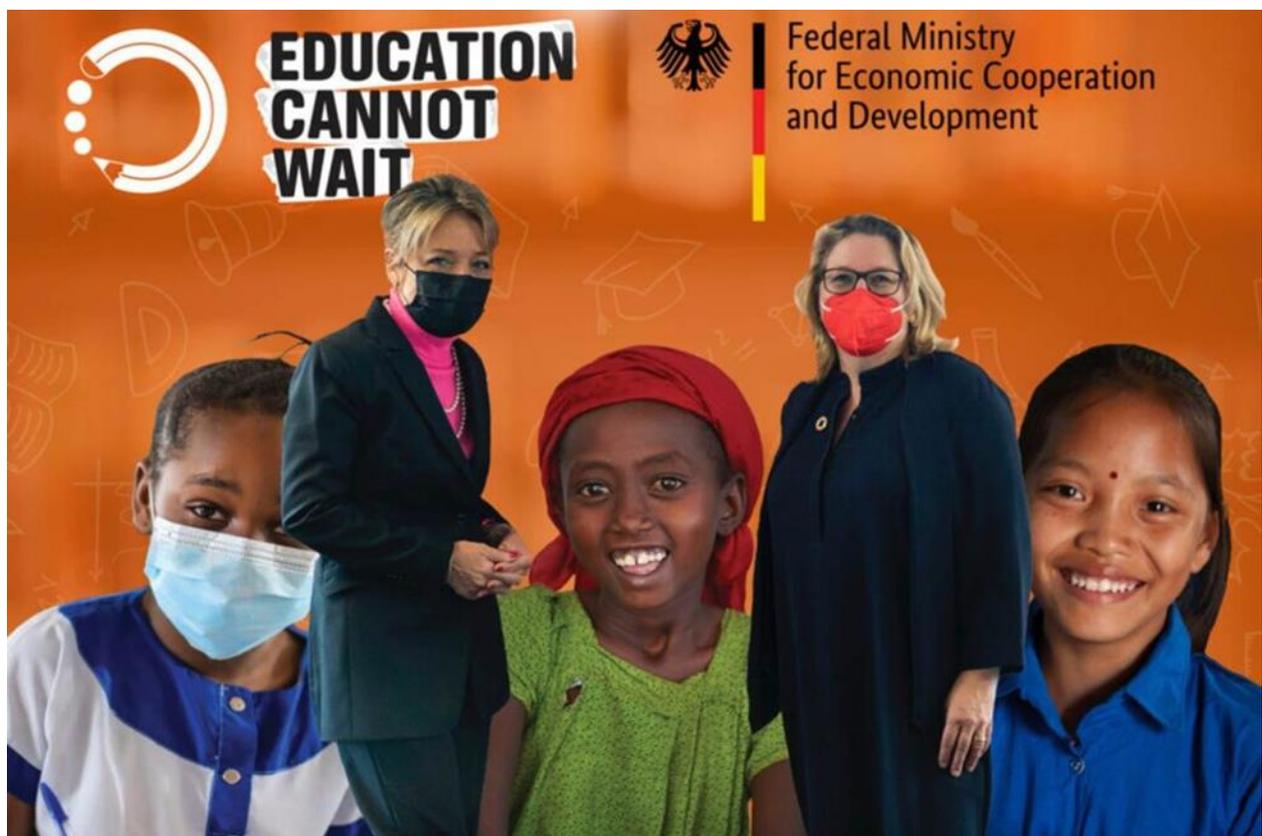


Photo: Nathalie Berger

**ECW** : ドイツは今、ECW のトップドナー国になりました。感謝申し上げます。ECW への支援を検討している、公的ドナーや民間セクターへのメッセージをお願いします。複数年にわたる資金提供は、長引く緊急時下での教育対応の予測可能性と有効性を高め、人道と開発の連携（ネクサス）を強固にするのにどのように役立つでしょうか。

スベニャ・シュルツェ大臣：私は、緊急時の教育に対する ECW の革新的なアプローチに注目したいと思います。ECW は、人道支援と開発協力における官民のアクターを繋げることで、短期的な人道支援と長期的な開発の架け橋をつくり出しています。ECW のような多国間組織だけでなく、援助を受ける国も、より良い計画を立て、プログラムの効果を高めるために、拠出が約束された、信頼しうる資金を必要としています。それは学習と同じで、生まれたときから始まり、生涯を通じて続くものです。教育資金についても、同じように考える必要があります。教育資金は継続する必要があり、途絶えることは許されません。

近年、国際援助（人道支援）のうち教育への支出は 2～4%程度にとどまっており、すべての子どもたちが質の高い教育を受ける機会を確保するには不十分です。G7 のパートナーなど経済力のある国や、民間のドナーにも、私たちのように世界の教育に投資することを勧めたいと思います。特に、紛争地域の少女たちや子どもたちへの教育の投資は、私たちの未来への投資です。2030 年までに SDG4 を達成するためには、私たち全員が取り組みを強化する必要があります。力を合わせることでしか、共通の目標を 2030 年までに達成することはできません。

そして、私たちはより良い調整をする必要があります。ドイツは、ユネスコが主導する「[教育のためのグローバル協力メカニズム（GCM）](#)」構築のプロセスに積極的に貢献しており、今後も教育分野における国際協力の効率的な調整を支援していく予定です。



Photo: Nathalie Berger

**ECW :** ドイツは 2022 年の G7 議長国ですね。緊急事態や長期化する紛争に巻き込まれたすべての子どもたちに質の高い教育を提供するために必要な政治的リーダーシップを、どのように発揮することができるでしょうか。

なぜ他の G7 諸国はドイツにならい、武力紛争・強制移住・気候変動・新型コロナウイルス感染症といった複合的なリスクの影響を受ける子どもや若者のための教育資金を優先し、増額すべきなのでしょう？

**スベニャ・シュルツェ大臣 :**

ドイツの G7 における最優先事項の 1 つは、ジェンダー平等です。私たちの新政権は、フェミニスト外交・開発政策に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる壊滅的な影響は、ジェンダー平等の分野で苦労して勝ち取った多くの成果を台なしにしまいました。[ウガンダ](#)では、学校はほぼ 2 年間閉鎖されました。多くの少女たちは学校に戻ることなく、10 代の妊娠や早婚のリスクも高まっています。[ユニセフ](#)は、新型コロナウイルス感染症パンデミックの結果として、10 年後までに最大 1,000 万件の児童婚がさらに成立すると予測しています。

女子教育の重要性を訴え、危機の影響を受けた少女たちを学校に戻すため、ドイツは、2021 年 5 月、教育のためのグローバル・パートナーシップ (GPE) 及びノーベル平和賞受賞者マララ・ユサフザイさんと共同で「[Support Her Education](#)」(SHE) イニシアチブを立ち上げました。女子教育に対する取り組みをさらに強化しています。教育におけるジェンダー平等は、私たちのフェミニスト開発政策においてとても重要です。特に、G7 議長国という立場から、少女と若い女性の教育のための共同の努力を強化する行動を呼びかけたいと考えています。



Photo: BPA/Steffen Kugler

**ECW :** ドイツは G7 議長国として、気候変動対策を優先していますね。前環境・自然保護・原子力安全大臣として、パリ協定や持続可能な開発目標に掲げられている目標達成に向けて、気候変動対策と教育はどのように連携していくことができるのでしょうか。

**スベニャ・シュルツェ大臣 :** 質の高い教育-SDG4-は、すべての持続可能な開発目標の達成を可能にする重要な要素です。なぜなら、教育を受ける者たちが、持続可能な開発のためのチェンジメーカーだからです。教育は変革のための鍵なのです。教育に投資すれば、人々は並外れた変革の能力を発揮し、地球のための解決策を見出すことができます。私たちは、持続可能な未来のために提言する若者を必要としています。世界的な健康危機、人為的な気候変動、生物多様性の喪失、気温と海水面の上昇、貧困、持続不可能な経済構造などは、現在世界が直面している課題のほんの一部に過ぎません。2020 年は記録的な暑さの年で、世界中でハリケーン、山火事、熱波、干ばつ、洪水が発生し、最も貧しい人々や弱い人々に特に影響を与えています。私たちは、地球が 1 年間に生み出せる以上の資源を使用しており、もし生産と消費の方法を変えなければ、2050 年までに私たちは生き延びるために 3 つの惑星を必要とすることになるでしょう。私たちは、政策・行動・生活様式・他者との関わり方において、変革を求められています。

私は前環境大臣として、例えば昨年の COP26 サミットなどで、パリ協定の目標達成に向けた国際的な解決策をすでに提唱しています。現在は経済協力開発大臣として、引き続き世界の気候危機に注意向け、世界の効果的な気候変動対策のために開発協力を実施します。



**ECW :** 国連事務総長は、2022 年 9 月に「[教育変革サミット \(Transforming Education Summit\)](#)」を開催します。世界で最も弱い立場にある子どもや若者に教育を提供する方法を、どうすれば共に変革することができるでしょうか。

**スベニャ・シュルツェ大臣 :** 教育の変革とは、「誰一人取り残さない」原則を実践することです。過去 2 年間、新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、世界中で学習が中断されています。世界的な学校の閉鎖は、世界中の教育の不平等を悪化させ、すでに周縁に追いやられている人々をさらに追いやることになりました。このままでは、教育の中断により学習の遅れた人々は、追いつくことができません。教育格差を是正するために、私たちは教育のリセットを行い、そして、世界で最も弱い立場にある子どもたちや若者たちに教育を提供する方法を変革することが急務です。

第一に、学習者中心の教育アプローチが必要です。つまり、パンデミックの期間中に失われた学習を調査し、教育が中断されたところから再開し、学習者のニーズや能力に適切に対応できるようにしなければなりません。学習者の多様なニーズと能力に適切に対応できるよう、カリキュラム・教員養成・学校などを評価することが必要です。

第二に、子どもたちが学ぶためには、健全で安全な社会環境が必要です。私たちは、教育を健康・栄養・安全といった生活の他の側面と関連付ける必要があります。健康で栄養状態の良い子どもたちは、学校で

学び、成功することができます。緊急下では、親は安全でなければ子どもを学校に通わせることができません。多くの場合、学校は子どもたちが衛生設備や食事にアクセスできる唯一の場所です。

第三に、私たちは教員に関心を向けなければなりません。教員は質の高い包括的な教育の中心であり、生徒の学習に最も大きな影響を与える存在です。教育の改善は、教員の訓練に大きく依存しています。一方、教員は変革に積極的な影響を与えることができます。教員はロールモデルとしての役割を果たしますが、これはジェンダー平等において特に重要です。そして、デジタルリテラシー、批判的思考、問題解決能力といった未来のスキルを教えるために、資格を持った教員が必要です。

そして最後に、教育に使用するツールを見直さなければなりません。デジタル技術をカリキュラムや教育・学習プロセスに組み込むことで、教育へのアクセスやその質を向上させることができます。しかし、こうしたアプローチが地域の状況や人々のニーズに合わせたものであるか確認する必要があります。2020年現在、世界人口の3分の1以上がインターネットにアクセスしたことがないといわれています。また、特にアフリカでは、デジタルに関するジェンダー格差がまだ残っており、対処する必要があります。さらに、教員も生徒も基本的なデジタル技術を身につけていないことが多いのです。インターネットへのアクセスやIT機器も誰もが簡単に利用できるわけではなく、価格も手ごろではありません。高品質で包括的な教育のためのデジタルアプローチの可能性を最大限に引き出すために、私が挙げたポイントや、その他の多くの要因を考慮する必要があります。



Photo: Nathalie Berger

**ECW**：教育は基本的人権であり、格差を縮小する重要な機能を果たします。なぜ、世界最悪の人道危機に陥っている少女たちの教育に投資しなければならないのでしょうか？普遍的で公平な教育への投資が、なぜドイツ、EU、そして世界の国々に利益をもたらすのでしょうか？

**スベニャ・シュルツェ大臣**：教育は、人権であることにとどまらず、自分に力を与える鍵であり、持続可能な開発の基礎となるものです。教育は、個人と家族、あるいは社会全体、そして私たちの世界の生活を一変させることができます。教育は、貧困の連鎖を断ち切り、より良い健康、より清潔な環境、そしてより寛容になるための鍵なのです。

しかし、教育へのアクセスやその質は国によって、さらには国内でも大きく異なり、貧困家庭の子どもや、緊急事態や長期化する危機に巻き込まれた子どもは特に不利な状況に置かれています。

特に、そのような状況にある少女たちは、教育を受ける権利を行使できないリスクにさらされています。例えば、アフガニスタンです。私たちは、学校が平和と希望の場所であり続けるようにし、少女たちが学校に通えるようにしなければなりません。20年間の開発協力で得られたすべての進歩を危険にさらさないようにすべきです。以前と比べて12倍の子どもたちが学校に通うようになり、特に少女たちは教育を通じて力をつける機会を得ていました。

さらに、危機的な影響を受けた地域に限らず、少女たちは早期に学校を退学せざるを得ない状況にあります。新型コロナウイルス感染症によるパンデミックと貧困の拡大の直接的な結果として、さらに2,000万人の中等教育を受ける年齢の少女が学校に戻れない可能性があります。さらに、中等教育を受けている難民の少女の2人に1人が退学するおそれがあります。彼女たちの多くは児童婚を強いられたり、家族を養うために働かなければならなくなったりします。

女子教育には、まだ見ぬ可能性を引き出す力があります。先月のECWのインタビューで、[国連グローバル教育担当特使のゴードン・ブラウン氏](#)が指摘したように、女子教育に1ドル投資するごとに、パートナー国では2.80ドルの経済的リターン見返りが約束されます。交渉や意思決定への少女や女性の参加は、気候保護にプラスの影響を与え、より持続可能な平和につながる事が研究によって示されています。



Photo: Nathalie Berger

**ECW :** 個人的にも仕事上でも影響を受けた、読者におすすめの本を教えてください。

**スベニャ・シュルツェ大臣 :** 2月のミュンヘン安全保障会議では、フェミニスト外交政策センターの共同設立者であり共同代表のクリスティナ・ルンツと刺激的な話をしました。彼女は「[Die Zukunft der Außenpolitik ist feministisch](#)」(外交政策の未来はフェミニストである)という本を出版したばかりです。この本の内容は、開発政策についても当てはまります。私の考えでは、この本はすべてのリーダーが読むべき本であり、英語版が早く出版されることを望みます。ルンツは、より安全でより公正な世界を実現する方法を示しています。世界中の社会が女性と少女の平等な権利を確保し、あらゆるレベルと意思決定プロセスにおいて女性の代表性を高め、ジェンダー平等を支援するための資源を増やすことがいかに重要であるか、そしてそれが社会全体に利益をもたらすと説いています。これは、女子教育、女性起業家の支援、平和構築プロセスへの女性の参加にも及びます。女性と少女を支援することは、飢餓との戦いからより平和な社会まで、持続可能な開発目標すべての達成に大いに役立つことでしょう。



Photo: BPA/Steffen Kugler

### スベニャ・シュルツェ

1968年9月29日デュッセルドルフ生まれ。1997年から2000年、2004年から2018年まで、ノルトライン・ヴェストファーレン州の州議会議員。州議会での勤務の合間、公共部門を中心としたビジネスコンサルタントとして勤務。その前の2010年から2017年まで、ノルトライン・ヴェストファーレン州連邦州のイノベーション・科学・研究省を率いる。2018年から2021年まで、連邦環境・自然保護・原子力安全大臣を務める。

【翻訳前の記事（英語）】<https://www.educationcannotwait.org/svenja-schulze-qa/>